

第7回 おかやま介護グランプリ20

競技の様子



デモンストレーション



見学者アンケートより

- 介護をするにあたっての知識が必要とされる課題でした。
- 介護グランプリという企画を通じて、施設の中で課題を検討したり、基本を振り返り検証したりする過程が実りあるものだと思います。
- 職員が気づき考えるきっかけになること、発表する場があることはとても素晴らしいと感じました。



22

開催日：2022年11月11日（金）
会場：きらめきプラザ

2022年11月11日（金）、きらめきプラザにて「第7回おかやま介護グランプリ2022」が開催されました。

15チームの参加があり、動画による予選を行いました。予選を勝ち抜いた上位5チームが本選に進み、緊張が漂う中、優勝を目指して競技にのぞみました。（都合により、内1チームが本選出場辞退）

また、ご来場の皆様には、お知らせしていた競技開始時間が変更となりご迷惑をおかけいたしました。



優勝

チーム 吉備路 社会福祉法人吉備路の会

緊張して思うように出来ませんが優勝できて嬉しいです。障害者福祉施設なので普段は介護をしていませんが、この日の為に練習をしてがんばりました。上司の協力もあり優勝できたと思います。競技では利用者さんの自己選択の尊重をアピールポイントとし臨みました。1番目だったので他のチームの競技を見て良い刺激を受けました。この経験を活かして仕事でもがんばっていききたいです。



準優勝 一般社団法人岡山県介護福祉士会

チーム M・Aグレートチーム

仕事の合間に練習をしてきましたが、本番前に会場を確認して自分達が思っているものと違ってしまいました。ぶっつけ本番になってしまいましたが、準優勝できて嬉しいです。審査でもチームワークの良さを評価してもらえたので、普段からのチームワークの良さが出せたと思います。これからもチームワークの良さを活かして仕事に励んでいきたいです。



敢闘賞

チーム 社会福祉法人藤花会 特別養護老人ホームせとうち

同じ学校出身の同期3人でチームを組み出場しました。去年は応援のために観覧席で見えていたのですが、次は自分達が出たいと思い今年の介護グランプリに挑みました。本番では緊張で声が小さくなり練習してきたことが発揮できず悔しいです。今日の経験を生かし、安心安全な介護ができるようがんばります。



敢闘賞

チーム 吉備高原賀陽荘

3人で予選は出場しましたが、本選は2人での出場になりました。残念ながら参加できなかったメンバーの分までがんばりました。緊張で練習の成果が出せませんでしたが、普段から利用者さんのことを思い行っている声かけが、本番でもできたので良かったです。優勝はできませんでしたが、今日はとても良い経験になりました。今後も利用者さんに喜ばれる丁寧なケアを行っていききたいです。



会のWEBサイトに受賞チームの競技等、当日の様子を動画でアップします。ぜひご覧ください。



大会実行委員会

（高梁・総社地区：広報・大塚）

第14回 介護実践研究発表会

開催日 2022年12月16日 (金)

会場 オンライン (Zoom)

コロナ禍での開催ということもあり、感染拡大防止対策として、発表者には会場・Zoomで、参加者の皆さんにはZoomでご参加いただく形で介護実践研究発表会が行われました。当日は50名と多くの方がご参加くださり、皆さん介護現場の成功事例やケアの質向上のための取り組みを熱心に聞かれておられました。

助言者



新見公立大学 健康科学部地域福祉学科
教授 岡 京子氏



一般社団法人岡山県介護福祉士会
会長 安達悦子氏

事例発表

	テ ー マ	所 属	発表者
発表1	生活支援記録の必要性について —ADLの正確な情報提供のために—	医療法人創和会 しげい病院	斉藤 紀子
発表2	当院における介護福祉士の記録の役割 —患者さんの自立に向けた介護過程が展開出来ていますか?—	川崎医科大学 附属病院	尾崎まどか
発表3	介護介入を拒む利用者との関わりから —入浴に向けたアプローチ—	特別養護老人ホーム 旭川敬老園	太田 実梨
発表4	認知症高齢者への有効なαトレーニングを考える —アルファテックを使用して—	創心会五感リハビリ 倶楽部岡南	山本 光紀
発表5	認知症の進行を考慮した環境について考える —一人一人は何を見、何を感じているのか—	社会福祉法人愛誠会 グループホーム心	宮田真里子
発表6	回復期医療機関との連携強化により復職に至ったケース —互いの強みを活かし、利用者様の自己実現を叶える—	創心会元気デザイン 倶楽部	吉田 依里
発表7	選べるっていいなあ —買い物に着目して見えたこと—	介護老人保健施設 ゆうあい	森岡 沙紀



会場での発表の様子



事業所からZoomでの発表の様子

発表者の感想

コロナウイルスが発生して3年が経ちました。研修会等にも制限がある中で介護実践研究発表会に参加し、他施設の取り組みを知ることができ、とても刺激を受けました。また、研究発表に取り組むことで、自分たちが行ってきたことの振り返りもできました。今回学んだことを業務に活かし、今後も介護研究に取り組む介護職の専門性の確立を目指したいと思います。

介護老人保健施設ゆうあい 通所リハビリ
森岡 沙紀



参加者の声

- コロナ禍でなかなか会場に行けない中、気軽に参加出来て良かったと思います。また、発表者にZoomでのチャットコメントで質問しやすかったです。
- 色々な研究発表を聞いて、今後のケアに向けて意識向上に繋がりました。次回は、会場で聞きたいと思いました。



皆さまも2年後に向けて、介護現場の成功事例やケアの質向上のための取り組みを是非とも発表していただき、今後のケアに向けて意識向上につなげていただけたらと思います。
(真庭地区：広報・古山)

準備が出来次第HP上にてアーカイブ配信をいたしますので、興味のある方はご視聴ください。

研修報告



外国人介護職のための基本研修

開催日：A日程 2022年9月6日(火)・7日(水)
B日程 2022年10月6日(木)・7日(金)
会場：きらめきプラザ

介護の基本を学ぶ「外国人介護職のための基本研修」を開催しました。

受講生はベトナム、中国、インドネシア、ミャンマーなど様々で、日本に来てから5年以上経つ方もおられれば、5月に日本に来たばかりという方々もおられました。特に5月に来たばかりの方々は半年にも満たない中、なんとか現場で四苦八苦しながら奮闘されているとのことでした。

受講生たちは、講義では前のめりでメモをとり、よくうなずき、意欲的に聞いていました。また実技では積極的に行動し、互いに声を掛け合って意見を交わしながら、非常に熱心に取り組む姿勢が見られました。少人数での研修ということもあり、受講生同士仲良く、終始和気あいあいとした雰囲気の中、



研修が行われました。

国籍は違えど、利用者さんに対する支援したい気持ちは同じなのだということが分かって嬉しかったですし、受講生の皆さんの仕事に対する姿勢にも刺激を受けました。また国籍の違いによる異なる角度からの視点をもった介護を彼ら彼女らから学ぶことができると教えられました。

(岡山地区：広報・早見)

受講生の声

- 研修は学びになって、とても楽しい。同じ境遇の仲間とともに学べるので教え合えた。
- 先生が丁寧で分かりやすい。また、優しく教えてくれた。
- 基本的なことで理解できている部分もあるが、理解できていないことも多かったのでもち勉強になった。
- 受講は2回目だけど、今後もこのような機会があれば参加したい。

一般研修会「ポジショニング」

開催日：2022年11月25日(金)
会場：きらめきプラザ
講師：特別養護老人ホーム旭川敬老園 理学療法士
木戸 敬典 氏

今年度の一般研修は、「ポジショニング」をテーマに『姿勢ケア』『姿勢と環境のアセスメント』『床ずれ』『重力・床』などについて学びました。木戸先生のわかりやすい説明により、「ポジショニング」について理解を深めることができました。「ポジショニング」とは、安定した姿勢やより活動性を引き出す姿勢を維持する技術で、姿勢をサポートすることで機能維持・促進につながるということがわかりました。

後半は、マットやナーセントパットを用いて、床の上でどのように身体が置かれているか、床や身体との接地感を把握する演習を行いました。

今回の研修で、ポジショニングにより快適な姿勢や活動しやすい姿勢をすることで、床ずれの防止や摂食嚥下機能や呼吸循環機能の維持・促進、筋緊張の緩和と関節の拘縮防止、

介護負担の軽減、姿勢の安定により活動を促す等、すべての活動に影響し、長期臥床の弊害を防止することがわかりました。

特に印象に残ったことは、姿勢管理を考える上で重力の影響が大きく、1日を「どのくらいの時間、どの姿勢で過ごしているか」を把握することが大切であるということです。今回学んだことを、職場でぜひ活かしていきたいと思っています。

(岡山地区：研修委員・松本)



参加者の声

- 普段しているポジショニングを深く考えながらするようになり、と思いました。
- 実践も一緒にできたので、すぐ現場で使えと思った。先生のお話とても聞きやすかった。
- 今日の内容がわかりやすかったので、実技の時間をさらに増やして方法を学びたい。

倫理研修



開催日：2022年10月22日（土）

会場：美作大学

講師：一般社団法人岡山県介護福祉社会

増見 富海子 氏

一般社団法人岡山県介護福祉社会

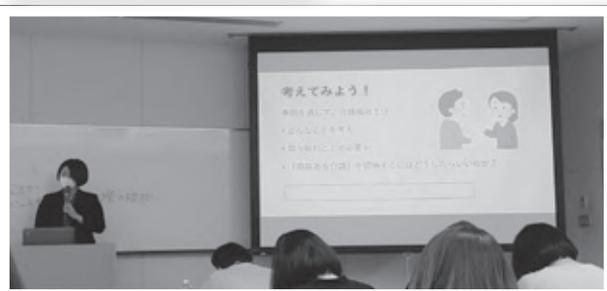
石浦 敬子 氏

今年度の倫理研修は初の県北開催となりました。

求められる介護福祉士像の『高い倫理性の保持』が別枠になったこともあってか、倫理が重要視されています。今回の研修では、身近な倫理を考えるというテーマで、普段のケアを少し立ち止まって考えてみました。感染対策に留意しながらの後半のグループワークでは、今一度利用者様にとっての良い介護に結び付けていけるように、他施設のことや様々な介護者の考え方、様々な取り組みについて話し合いが行われました。



不適切ケアの先にあるものとは？判断基準とは何だろうか？業務優先になってしまっていないか？介護福祉士として思慮を重ねても、一人では俯瞰したつもりが主観的になりやすいものです。情報や選択肢を検討した上で、根拠を持った誰もが納得できるように、



利用者様を中心にチームで話し合う他にないのではないかと考えられます。

時代によって、人によって、目まぐるしく変化する価値観や倫理観を絶えず見直して確認をしていくことが、介護の質の向上につながるのだと学べました。今後も自身のケアを振り返り、自覚する機会を持てるような、倫理が身近に感じられる研修会となりました。（美作地区：広報・神田）

参加者の声

【講義の感想】

- 倫理を難しく考えていたが、少し視点を変え違う角度から見ると、とても身近なことばかりで、虐待や不適切なケアにつながっているとわかった。
- 価値観も今の時代に合わせていけるようにしなければと思った。
- 問題意識を持たないと何も変わらない。
- 考え方の基本を学び直せたことが大変良かった。
- 考え方を学んで、新しい情報を取り入れることを続ける大切さに気づかされた。

【グループワークの感想】

- 他施設の方との意見交換がとても参考になった。
- 「うばわないケア」今の私はうばっています。感情をうばわない、大切だと思った。
- 自分たちのケアが、利用者のADL、QOLの低下につながることを感じた。
- チームとして話し合う場を作ろうと思う。
- 利用者主体、利用者を大切にするなどの考えが、忙しさととられ欠けていることに気づけた。
- 先を見て考え、立ち止まって、考え直すという大切さに気づいた。
- 情報交換だけでなく、施設内での問題点を共有し、良い意味で励まし合う雰囲気があり、気分転換にもなった。

来年度以降も魅力ある研修を企画していきます！
皆様のご参加お待ちしております。（研修委員会）



!!がんばっています!!

青年 隊 「晴れる家」 隊員

青年隊「晴れる家」活動報告!

オンライン懇親会

2022年9月28日(水)・30日(金)にオンライン懇親会を行い、晴れる家メンバー内での親睦を深めました。懇親会では、それぞれの近況を聞いて楽しく盛り上がりました。遠方のメンバーも参加し、遠く離れても頑張っている話を聞き、励まされました。メンバー一人ひとりが介護という仕事を楽しんでいるようで、介護という仕事の面白さや魅力について、自然と語り合っていました。晴れる家として、今一度結束を深める時となりました。

また、今後の活動についても話し合いました。特に養成校の学生さんにとって、学びの機会となるような研修や企画を行いたいという声が多く出ました。今後も介護の魅力を発信していく活動を少しずつでもしていきたいと思います。

(晴れる家代表 早見)



介護入門教室

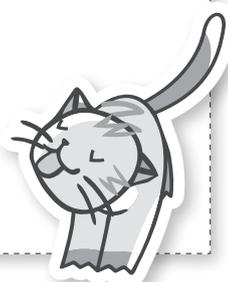
総社市の地域ボランティア「にこにこサポーター」の方々に対して、『自立支援、介護予防』というテーマで介護入門教室を開催しました。

にこにこサポーターとは、要支援の方の家に行って家事援助や困っていることをお手伝いする総社市の地域ボランティアです。主に女性サポーターは食事作り、掃除、洗濯、買い物などを行い、男性サポーターは庭の整備などをされているとのこと。

サポーターの基本的な支援内容は「ご本人ができないことを支援する」というものだそうです。しかし、要支援者の中には、実際にはできることであっても支援を希望される方がおられ、サポーターの方も対応に困っているというお話を伺いました。そこで今回実際にそのような場面を想定し、どのように関わっていけばいいかを共に考えるグループワーク形式で講座を行いました。

自立とは何か、自立支援とは何か、グループワークを重ねながら考えました。自立支援とはただ自立を促すものではなく、自立の目的である「生きがい」をもってもらえるように支援することだと伝えました。サポーターの方からは実に多くのエピソードを伺いました。「私が行ったら利用者の方が『今日はあんたが来てくれるから草抜き頑張ろうかな。』と言って着替えて出てきてくれる。」「実際に行ってみたら利用者さんから生活の知恵を学ばせていただくことがある。今度は学んだことを伝えてみようと思う。」などといったエピソードです。すでに多くのサポーターの方々が「生きがい支援」を実践されており、総社市の要支援者にとっての生きがいそのものになっておられると感じました。

(晴れる家代表 早見)



おかやま総合 福祉・介護フェア

inきらめきプラザ



2022年11月5日（土）、福祉・介護の仕事の魅力を正確に伝え、福祉・介護分野への多様な人材の参入促進を図ることを目的に『おかやま総合 福祉・介護フェアinきらめきプラザ』が開催されました。「Okayama福祉・介護魅力発信アンバサダー」に就任された岡山出身アーティストの萌乃さんも来場し、「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」イメージソング『smile』の楽曲発表や「11月11日介護の日岡山」川柳受賞作品発表、トークショーなど様々なイベントが展開されました。



そのなかの各団体企画体験・相談コーナーに、岡山県介護福祉士会からもブース参加してきました。介護GPの紹介動画コーナーでは、昨年度の出場者が視聴してくださり喜ばれていました。他にも、相談コーナーには、介護福祉士を目指している方が養成課程の相談に来てくださいました。

福祉の魅力・未来・可能性を発信するこのイベントが、また来年もより多くの方々にとって介護・福祉の理解を深めるイメージチェンジのきっかけになればと楽しみにしています。 (美作地区：広報・神田)

川柳受賞作品や「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」イメージソング『smile』、すまいるスクールの動画が、WEBサイト『おかやま総合 福祉・介護フェス2022』でご覧いただけます。ぜひ『おかやま総合 福祉・介護フェス2022』で検索してみてください！



介護の仕事に興味はあるけど自分に勤まらさうかなど不安や疑問を抱えている人に対して、
一歩を踏み出すための支援(^^♪

日程：令和5年9月5日（火）・12日（火）・19日（火）いずれも 10：00～15：00

対象者：介護福祉士資格を有している者で、現在介護職員として勤務していない人。
今後介護職員として就労を希望している人。 気軽にご参加ください(^^♪

場所：講義 - 岡山市内の会場

演習 - 介護福祉士養成校にて 実施を計画中 (詳しくは2023年4月にホームページにて(*~*~*))

内容

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 1日目 講義 | 倫理・認知症や障害の特性に応じた関わり・介護過程など |
| 2日目 演習 | 介護技術・持ち上げない介護など福祉用具の体験など |
| 3日目 グループワーク | 介護過程の展開GW・施設をのぞいてみよう！経験者との懇談など |

お問い合わせ：岡山県介護福祉士会

okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp

企画：潜在介護福祉士発掘プロジェクトチーム（代表：須江裕子）

潜在介護福祉士発掘プロジェクト◎

令和5年度 潜在介護福祉士のための 安心セミナー

～3日間で基本的な知識や実技を通して学ぶセミナー～

皆さんの周りに潜在介護福祉士の方はおられますか？ぜひこのセミナーのことをご紹介ください。

多 職 種 連 携 ス ク ラ ム コ ラ ム

歯科衛生士のひとり言

8020運動をご存じない方はおられないと思います。それくらい皆さんに周知された運動です。80歳で20本以上の歯を残しましょうという運動です。歯がしっかりあって、なんでも噛んで食べる事ができるお口は健康寿命に繋がるという事はご存じの方も多いと思います。

1989年に始まった8020運動ですが、当初は7%ほどの達成率でした。しかし、現在は50%を超えるほどにもなりました。皆さんの意識の中に歯が大事であるという事が認識された証拠です。

この取り組みもあり、高齢になっても自分の歯は自分で管理をし、歯科健診を定期的に受けている方が大変多くなりました。

でも・・・以前に介護をされている方が、こんな事を言っていたんです。

「歯がある人は口腔ケアが大変だから、総入れ歯で歯が無いほうがケアはしやすくて良いわー」と・・・。

同感と思われる方がおられるかもしれないですね・・・。

現在、80歳で20本以上の歯をお持ちの方が50%を超えているのですから、これからは歯のある高齢者がどんどん増えていくと思います。それに伴って、歯があるという事は、むし歯にもなるし、歯周病にもなります。実際、要介護状態になると口腔の自浄作用の低下が起こりやすくなり、そこに口腔ケアがうまく行われないと歯を失う原因に繋がります。

ますます、口腔ケアが重要になるわけです。

もし、皆さんの中に口腔ケアが難しいと思われる方がおられましたら、まずは、自分自身の歯磨きがきちんとできているか考えてみるのも良いと思います。

歯間ブラシやデンタルフロスは使っていますか・・・？歯科医院で、歯磨き指導を受けた事はありますか・・・？

歯磨き指導を受けられた事が無い方は、どのように歯磨きをするのが良いか歯科医院で聞いてみるのが良いかもしれません。自分の歯がきれいになる事で更に口腔ケアの重要性を実感し、口腔ケアのレベルアップに繋がるはずですよ。

歯があり、しっかり噛む事のできるお口があれば、認知症の予防にもなり、歩行の安定にも繋がると言われています。そして、何よりも美味しく食事ができ、QOLの向上に繋がるのです。お口は命の入り口です。そんなお口を、一緒に守っていききたいですね・・・。

((一社)岡山県歯科衛生士会 飯田 美知代)

8020



✉ 県介護福祉士会からのお知らせ

◇ 会員登録について

年度末が近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様に、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出ください。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意ください。様式は、日本介護福祉士会または岡山県介護福祉士のWEBサイトから印刷することができます。事務局へご連絡いただければ送付いたします。



◇ 次年度（2023年度）の研修について

現在、次年度に向けて研修の計画を立てております。

2023年度の研修スケジュールと開催要綱を3月頃にお送りする予定です。あわせてWEBサイトにもアップいたしますので、ぜひご覧ください。

皆様の研修へのご参加をお待ちしております。

今年度の研修におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染予防策へご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年度につきましても、今年度同様、感染予防策を実施し、安全に研修を受講いただけるように実施運営してまいります。

2022年度賛助会員の皆様

(順不同)

医療法人社団新風会 玉島中央病院	社会福祉法人旭川荘 特別養護老人ホーム旭川敬老園
医療法人福嶋医院	社会福祉法人奥津広済会 特別養護老人ホーム奥津広済園
学校法人旭川荘 旭川荘厚生専門学院	社会福祉法人薫風会 ぐらしき総合福祉専門学校
学校法人穴吹学園	社会福祉法人恵風会
学校法人川崎学園 川崎医療短期大学	社会福祉法人岡山中央福祉会 特別養護老人ホーム中野けんせいえん
学校法人ベル学園 岡山医療福祉専門学校	社会福祉法人天神会 こうのしま介護老人保健施設
学校法人美作学園	社会福祉法人優風会
株式会社MEサポート	東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所
株式会社アークリード	日本福祉大学 岡山オフィス
株式会社創心會	森脇法律事務所
株式会社リスコ	リコージャパン株式会社

ご支援ありがとうございます

2023年度岡山県介護福祉士会 賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。資料を送付させていただきます。岡山県介護福祉士会事務局 TEL：086-222-3125

みんなの広場

ほっとステーション



先日「エンディングノート」の勉強会に参加した際、同じグループだった介護福祉士の方と話が盛り上がり、終末期ケアの勉強会にも関わらず楽しく学びました。終わって駐車場へ行くと、その方がキャンピングカーで会場に来ていました。エンディングノート以上に以前からキャンピングカーに興味津々だったので話を伺うと、介護職では旅行も躊躇してしまうコロナ禍の現状を憂いていたけど、キャンピングカーなら旅館やホテルに泊まる必要がなく感染対策にもなるため気軽に旅行へ行けるのだとその魅力を説明してくれました。



全くその通りです。「そとiko号」と書いてあるそのキャンピングカーは『カーシェアリング』されていると聞き、共感・感銘した私は、家族と相談して次の休みにはカーシェアリングさせてもらえるようお願いしました。

後日、奥さんと子供二人でキャンピングカーに泊まってゆっくりしてきました。スーパー銭湯でほっと温もり、車中はエアコン完備で快適に眠れ、6名泊まれる所を4人で広く使えて、「家より広い！」と子供たちからのご指摘を頂きました。



次の日は朝早くから海辺に停めて釣りを楽しむ予定でしたが、寒さのためなのか(?)一向に釣れないからなのか(?)、子供は車の中でSwitchを楽しみ、奥さんは爆睡と、私以外は思ったんと違う休日となりました。きっと、「そとiko号」が快適だったからでしょう。また暖かくなったらしっかり計画してシェアリングしたいと思います。(ペンネーム:そとitta)

ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

- | | |
|--------|-------|
| 神田 統夫 | 河崎 崇史 |
| 早見 潤一 | 田中美保子 |
| 内藤 佑弥 | 岡本 奈々 |
| 山本 良真 | 古山 喬成 |
| 山室 竜太郎 | 西本 光男 |
| 磯田 明枝 | 大塚乃生子 |
| 森岡 剛士 | 岩本 侑太 |
| 高橋 明美 | |